

聖書の学び会 2023/03/02 重荷を運ぶ（おもに）

マタイ 11:28-30

28

すべて重荷を負うて苦労している者は、わたしのもとにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう。

29

わたしは柔軟で心のへりくだった者であるから、わたしのくびきを負うて、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたの魂に休みが与えられるであろう。

30 わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからである」。

何でくびきがありますか？目的は何でしょうか？

伝道者の書 4 : 9-12

9 ふたりはひとりにまさる。彼らはその労苦によって良い報いを得るからである。

10

すなわち彼らが倒れる時には、そのひとりがその友を助け起す。しかしひとりであって、その倒れる時、これを助け起す者のない者はわざわいである。

11

またふたりが一緒に寝れば暖かである。ひとりだけで、どうして暖かになり得ようか。

12

人がもし、そのひとりを攻め撃ったなら、ふたりで、それに当るであろう。三つよりの綱はたやすくは切れない。

イエス・キリストの重荷

マタイ 16 : 24-26

24

それからイエスは弟子たちに言われた、「だれでもわたしについてきてほしいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負うて、わたしに従ってきなさい。

25

自分の命を救おうと思う者はそれを失い、わたしのために自分の命を失う者は、それを見いだすであろう。

26

たとい人が全世界をもうけても、自分の命を損したら、なんの得になろうか。また、人はどんな代価を払って、その命を買いもどすことができようか。